

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	教授 小早川俊哉
---------	------------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

社会福祉専門教育・経済政策教育において、社会政策（福祉政策）及び経済政策・国際経済お授業、並びにソーシャルワーク実習・演習を担当している。社会変化の背景と社会システムを理解すると共に論理的に学生自身の意見を述べるようにすることが私の教育の責任と考える。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
福祉行財政と福祉計画	社会福祉学科 (全)	必修	4年次	53名
	経営学科 (全)	選択	4年次	18名
社会福祉の原理と政策Ⅰ	社会福祉学科 (全)	必修	1年次	50名
社会福祉の原理と政策Ⅱ	社会福祉学科 (全)	必修	1年次	49名
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ	社会福祉学科 (全)	選択	3年次	5名
			3年再	1名
専門演習ⅠA	社会福祉学科 (全)	必修	3年次	2名
専門演習ⅡA	社会福祉学科 (全)	必修	4年次	1名

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と社会福祉学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	自らの規範に従い、自身の判断と責任の下に行動できる強くてしなやかな人材の育成。 そのためのビジョンとして「Inspiration(発想力)」、「Imagination(想像力)」、「Insight(洞察力)」を涵養し、知識・技術の修得意欲を引き出すと共に、社会性・人間性の増進を図る。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	基本ポイントは「効率と公平のバランス」である。 授業の中では、「自身で考える」「自身の言葉で表現する」「グループワーク等でコミュニケーション能力向上を図る」ように学生たちを導くことで、3つのI、① Inspiration（発想力）、② Imagination（想像力）、③ Insight（洞察力）を涵養して、論理的に思考・表現できるようにすることを目指す。
アクティブラーニングについての取組	講義科目においては質問・課題への回答を求め、演習・実習指導においてはグループワークを随時行うことで、上記の目標達成を目指す。
ICT の教育への活用	授業時にはPCをなどのIT機器を活用し、復習ができるようパワーポイントを資料としてon-line授業で使用するteamsにupしている。
その他の創意工夫	授業毎にポイントを提示するとともに、学生自身が書き込むスペースを設定した授業プリントを配布している。 授業終了までの5分間質問時間を設けるとともに、chat 及び直接研究室での質問等に対応している。 中間試験は、次の授業時間にコメントを付けて返却している。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目において4.0前後と一定の評価を得ており、学生の自由記述からは今後に向けたポジティブなコメントを受けている。
学生の学修成果	講義科目においては、課題に対するポイントの把握、特に「効率と公平のバランス」を意識した論理性の向上を確認することが出来た。 演習・実習指導において、3つのIを意識して考察しようとする姿勢を感じ取ることが出来た。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>キーワードは「エンパワーメント」とする。 学生の修学意欲並びにチャレンジ精神の向上に資する教材の作成と授業の工夫を継続する。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和5(2023)年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	特任教授 藤 根 収
---------	------------------	-------	------------

1. 教育の責任

①教育の責任

私は、本学の社会福祉学科において、教職科目並びに特別支援教育の専門科目を担当するとともに、教職関係の専門演習科目を担当しています。特に、特別支援教育をはじめとする教職課程で学ぶ学生が、特別な教育的ニーズについての理解とその指導及び支援の在り方、特別支援教育の教育課程や指導方法などの基礎知識や技能を修得させ、学生たちが特別支援学校、中学校、高等学校の教育職員免許状を取得するための支援をすることが私の責任であると考えています。

また、修学基礎教育科目として、生涯学習に関連した科目も担当しており、基礎知識を身に付けるとともに、学生が学び続けることの大切さを認識し、社会において豊かな人生を送れるよう支援することも私の役割と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
生涯学習概論Ⅰ	全学科	選択	2	73
教育方法論	全学科	選択必修	2	33
特別な教育的ニーズの理解とその支援	全学科	選択必修	1	43
専門演習ⅠA・B	社会福祉学科	必修	3	6
専門演習ⅡA・B	社会福祉学科	必修	4	7
教育実習事前指導(3年)	全学科	選択必修	3	30
特別支援教育実習事前指導(3年)	社会福祉学科	選択必修	3	9
知的障害教育Ⅰ	社会福祉学科	選択必修	2	
知的障害教育Ⅱ	社会福祉学科	選択必修	3	
生涯学習概論Ⅱ	全学科	選択	2	
学校インターンシップ(学校体験活動)	社会福祉学科	選択必修	3	
学校インターンシップ(学校体験活動)	社会福祉学科	選択必修	4	
特別支援教育実習	社会福祉学科	選択必修	4	
卒業論文	社会福祉学科	必修	4	

2. 教育の理念

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援教育・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。

個人の教育理念・目標	<p>将来の社会を担う教員や社会人となる学生を育成するため、常にカウンセリングマインドを大切にした学生理解と授業改善・充実に努める姿勢を重視して教育に当たることを教育理念としています。</p> <p>特に教職課程においては、各授業科目や専門演習などをとおして、教職員として求められる倫理観や使命感、専門性などの資質・能力を育成し、信頼される教員を育てることを目標としています。</p>
------------	--

3. 教育の方法

授業	<p>教育理念に示した学生理解や授業改善・充実、教員としての資質・能力の育成を実現するため、次の事項を実践しています。</p> <p>①学生に対しては、常にカウンセリングマインドを重視し、学生のニーズを把握しながら、授業づくりを行うとともに、的確な指導、助言等ができるよう努める。</p> <p>②授業履修者が学びやすい環境をつくるために授業規律を徹底する。</p> <p>③授業履修者が主体的に授業に参加し、学び合えるようにアクティブ・ラーニングなどを授業内容に応じて、設定を工夫する。</p> <p>④学生の学修効果を高めるために、ICT等を活用した授業構成を工夫する。</p> <p>⑤教職科目及び専門演習をとおして、教員としての使命感・倫理観の醸成と生徒理解や専門性の向上やチーム対応などの必要事項について学び合う機会を意図的に設定する。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>各科目の授業において、学生の主体的な学びを促進し、思考・判断・表現の機会を確保するために、グループワークの積極的導入や実技・演習などを工夫するなどの取組を進めています。</p>
ICTの教育への活用	<p>すべての授業において、パワーポイントなどプレゼンテーションソフトを活用した視覚的教材を活用して学生の授業理解を促進する工夫を行っています。また、必要に応じてマイクロソフト Teams や Forms を活用し、遠隔授業、授業に関連した諸連絡やレポート課題提示などを行っています。</p>
その他の創意工夫	<p>障がいなどによる修学サポートが必要な学生に対しては、本学の基本方針等に基づいて、教育的ニーズを把握し、本人とのコミュニケーションを行い、必要な合理的配慮を行っています。</p>

4. 教育の成果

授業改善アンケートの結果	<p>「教育方法論」 「授業満足度」は、「満足した」以上が93%、「理解度」は、「理解できた」以上が93%でした。</p> <p>「特別な教育的ニーズの理解とその支援」 「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「理解度」は、「理解できた」以上が100%でした。「生涯学習概論Ⅰ」 「授業満足度」は、「満足した」以上が90%、「理解度」は、「理解できた」以上が87%でした。</p> <p>「知的障害教育Ⅰ」 第3Q終了後に追記</p> <p>「知的障害教育Ⅱ」 第4Q終了後に追記</p> <p>「生涯学習概論Ⅱ」 第3Q終了後に追記</p>
学生の学修成果	<p>授業改善アンケートの記述部分においては、次のような成果が確認できました。</p> <p>「教育方法論」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時々ある実技・演習が面白くて楽しいものだったので、またやりたかったです。 ・スライドが分かりやすく、項目ごとの内容がよく理解できました。

	<p>「特別な教育的ニーズの理解とその支援」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を始めて受けて私自身とても楽しかったです。 ・一方的に先生が話すのではなく、生徒自身に話し合う時間を作り、みんなの前で発表するなど主体性も学びました。 <p>「生涯学習概論Ⅰ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一方的な授業ではなく、グループワークを取り入れた授業だったので理解がしやすかったです。 ・どれも聞きやすく、資料やスライドも分かりやすかったです。 ・とても興味もてる授業で分かりやすく、楽しかったです。 <p>「知的障害教育Ⅰ」 第3Q終了後に追記</p> <p>「知的障害教育Ⅱ」 第4Q終了後に追記</p> <p>「生涯学習概論Ⅱ」 第3Q終了後に追記</p>
--	---

5. 今後の目標

学生の授業の理解状況などを把握し、各担当科目の授業改善アンケートにおける満足度や理解度が100%になるよう、より一層の授業改善に努めたいと考えます。
また、専門演習担当の学生については、課題意識を醸成し、卒業論文作成などにつなげていけるよう努めたいと考えます。

6. 添付資料

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

教材（スライド資料等）

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	教授 上原正希
---------	------------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

社会福祉士とスクールソーシャルワーカーの養成における基礎的な授業から演習、実習指導、実習とトータルに授業を担当している。一連の流れを踏みながら専門職になるためのスタートラインに立つための基礎を形成することが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	社会福祉学科	選択	1	35
ソーシャルワーク演習	社会福祉学科	選択	1	35
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	社会福祉学科	選択	2	30
スクールソーシャルワーク論	社会福祉学科	選択	2	5
地域共生プログラムⅡ	社会福祉学科	選択	2	20
地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	社会福祉学科	選択	3	30
地域福祉と包括的支援体制Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	30
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	20
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	社会福祉学科	選択	3	20
ソーシャルワーク実習	社会福祉学科	選択	3	20
相談援助実習指導Ⅲ	社会福祉学科	選択	4	15
相談援助実習指導Ⅳ	社会福祉学科	選択	4	15
スクールソーシャルワーク演習	社会福祉学科	選択	3	5
スクールソーシャルワーク実習指導	社会福祉学科	選択	4	6
スクールソーシャルワーク実習	社会福祉学科	選択	4	6
相談援助実習	社会福祉学科	選択	4	15
相談援助実習Ⅱ	社会福祉学科	選択	4	2

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と社会福祉学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。

	特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	社会福祉の学問は、特殊な問題を抱えた一部の人々のためのものではなく、全ての人々が安心して生活し、自分らしい人生に向けて歩むための基礎として普遍的な社会福祉であることが求められています。しかし一方で、家族、地域、産業構造や雇用形態など社会の急速な様々な変化の中、引きこもり、孤立死、生活困窮、虐待など、社会から孤立し排除され、様々な問題を深刻化させている人々への新たな取り組みが求められるようになっていきます。近年では、福祉・介護にとどまらず、保健・医療や教育・労働・司法・住まいなど、従来の制度の枠を超え、なおかつ地域住民の自助・互助の活動も踏まえて展開する地域での包括的な支援の構築が志向されています。このような社会福祉を取り巻く状況や課題の変化の中で、人々のウェルビーイングを実現し、社会変革を実現するための実践能力を有する人材を養成していきたい。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>少子高齢化、そして価値観の多様化、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と柔軟な思考、論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のあるソーシャルワーカーを養成を目指しています。</p> <p>(1) 「共生社会の実現」 共生社会の実現のためのコアな考え方として、多様性というものが存在する。多様性を理解することがさまざまな人が地域に存在するということを理解し、地域共生社会実現のためのコアな考え方が形成される。よって演習や実習を通じ、学生同士、利用者などに関わることで学ぶことを心がけています。</p> <p>(2) 「柔軟な思考」 授業や演習などの授業において、一方通行の授業ではない、自分自身で考え、そこから発言をすることで柔軟な思考ができるように心がけています。</p> <p>(3) 「論理的な分析力」 演習では事例を通じて、実習ではケーススタディを通じて、人と関わりアセスメント、プランニングなどを行うことで、論理的な分析力が形成されるように心がけています。</p>
アクティブラーニングについての取組	演習などの授業を通じて、学生同士、学生と教員などで議論を行い、能動的に取り組む時間を多く取っています。
ICTの教育への活用	学生に付与されているオフィス365の機能を有し、授業以外の時間もチャット機能を使用し、指導をしたり、オンラインで個別に指導をしたりと、PCやICTを活用した、また活用できる能力が形成できることを意識して授業を展開しています。
その他の創意工夫	福祉施設で勤務するソーシャルワーカーに講義に来ていただいたり、場合によってはZOOMなどを活用し、オンラインで授業を展開しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	板書とコメントの速さについて指摘を受けることもあるので、現在は注意をしながら行っています。全体的には高い評価を得ています。
学生の学修成果	板書とコメントの速さについては、適切という学生も概ねいますので、気をつけることで一定の成果は出ていることと自己分析をします。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

社会福祉学科の中で数少ないソーシャルワーカーとしての実践をしてきた教員であるので、学生の理論と実践を融合させた、また将来を見通した学びのできる支援をしていきたいと思っています。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketokako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	教授 松下守邦
---------	------------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、社会福祉学科の専門科目、教員養成課程の基礎免許（中学社会、高校公民科）の社会学系統の授業を担当しています。履修学生が該当の授業時間と準備学修を主体的に取り組み、社会学の学修における学術的思考を理解できるよう、学修支援をおこないます。高校までのカリキュラムでは教科書の情報量が少ないこと、社会科教科書は学修用語を太字で示すことからヒドゥンカリキュラム（暗記学修）を指摘されるケースがあります。大学の授業は、理論、学説の定義、類語解釈、文献解説など、学術専門性を備えるテキスト、資料などの教材を提供して概念学修をおこないます。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
スタートアップ演習	社会福祉学科	必修	1	45
専門演習ⅠA	社会福祉学科	必修	3	2
専門演習ⅡA	社会福祉学科	必修	4	1
社会学概論	社会福祉学科・経営学科	選択	3	18
社会科公民科教育法Ⅰ	社会福祉学科・経営学科	自由	3	11
社会学入門	社会福祉学科	選択	2	
社会学と社会システム	社会福祉学科	選択	1	
専門演習ⅠB	社会福祉学科	必修	3	
専門演習ⅡB	社会福祉学科	必修	4	
社会科公民科教育法Ⅱ	社会福祉学科・経営学科	自由	3	
社会心理学	社会福祉学科	選択	3	
保育内容演習Ⅱ（人間関係）	社会福祉学科	必修	2	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	社会学の教育理念において学生が獲得すべき能力は、「社会問題を発見する能力」、「社会の多様性を理解する能力」、「社会的現実を解明する実証的調査を行う能力」、「社会を理論的に思考する能力」、「社会を構想し提言する能力」の5つとされています（日本学術会議・社会学委員会 2014）。社会福祉学科の学生が、共通教育（「社会学入門」）、専門科目（「社会学と社会システム」、「社会学概論」、「社会科・公民科教育法Ⅰ」「社会科・公民科教育法Ⅱ」）の科目においてレポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどにより、社会の捉え方の多層性と自らの身の回りにある社会問題にきづくこと、社会事象の複眼的思考、市民性の涵養のための教育をおこないます。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>社会学系の授業科目は、「社会学入門」（科目レベル1：入門・導入、共通教育科目）と「社会学と社会システム」（専門科目、科目レベル1：入門・導入）、「社会学概論」（専門科目、科目レベル3：実践・応用）の計3科目を担当します。</p> <p>科目の位置づけは、教員基礎免許（中学社会科、高校公民科）の「教科専門科目」として社会学コア科目、社会福祉専門職のための展開科目です。教育職のための科目は、教員として専門書、専門事典の選書読解により教材研究をおこなう能力を養うこと、社会福祉専門職の科目は、社会構造と社会機能から社会事象の要因を説明し、解決への方策を考える能力を養うこと、そのための授業設計をおこないます。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>アクティブラーニング（AL）の取組として、学習評価技法における「応用領域13」スキル（批評的思考、創造的思考、実践的思考）を採用しています。リーディングのための専門文献は「引用解説」課題にもとづき資料作成、口頭発表、質疑応答をおこないます（バークレイ、メジャー（2020）『学習評価ハンドブック：ALを促す50の技法』）。</p>
ICTの教育への活用	<p>ICTツールであるTeamsを利用し、準備学修のためのデジタル資料を提供しています。学生は発表前日までにTeamsチャンネルへ報告レジュメを投稿します。発表報告ではプロジェクターを利用してプレゼンをおこないます。</p>
その他の創意工夫	<p>授業全体（計16回）において小まとめ作業とそのふりかえり（教員コメント）を組み込み、主体的な学修への評価をフィードバックしています。TeamsとFormsを併用して回答収集、講評をおこないます。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>授業改善アンケートにおいて内容の理解、科目の満足について、「とても適切だった」、「適切であった」など、学科の平均値を満たす結果を得ることができました。しかしながら、「あまり理解できなかった」の回答もあることから、学生自身が各授業内の理解度をさらに把握できるよう、学修内容を反復する機会、形成的評価を導入してまいります。</p>
学生の学修成果	<p>プレゼンテーションなど、AL技法を取り入れておりますが、基礎知識の修得だけでなく、知識の適用、解釈、統合理解など、応用的な学修成果が得られるよう、提出課題の優良事例を適宜紹介しました。履修学生自身の学修目標が高まるよう支援をつづけます。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>2021年度に学内導入されたTeamsを利用し、担当科目は授業チャンネルを作成、各授業日の教育情報を集積しております。各年度、各授業日の授業記録を可視化、構造化をおこない、カリキュラム改善につなげられるよう自己省察をすすめます。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

授業者コースパケット（Teams画面イメージ）

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	教授 吉江幸子
---------	------------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、保育士養成課程における専門教育として、保育の本質・目的に関連した科目及び保育の内容・方法に関する科目を担当しています。保育士養成課程で学ぶ学生が、職業倫理や専門性を理解し、保育士に求められる知識・技能と実践力の基礎を身につけられるよう指導することが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
専門演習ⅠA	社会福祉学科	必修	3	2
専門演習ⅠB	社会福祉学科	必修	3	2
専門演習ⅡA	社会福祉学科	必修	4	10
専門演習ⅡB	社会福祉学科	必修	4	10
卒業論文	社会福祉学科	必修	4	10
保育原理	社会福祉学科	選択	1	18
保育者論	社会福祉学科	選択	1	22
子どもの理解と援助	社会福祉学科	選択	1	
乳児保育Ⅰ	社会福祉学科	選択	2	24
乳児保育Ⅱ	社会福祉学科	選択	2	
言語表現	社会福祉学科	選択	2	
保育の計画と評価	社会福祉学科	選択	2	
保育内容演習Ⅳ(言葉)	社会福祉学科	選択	3	12
保育内容演習Ⅴ(表現)	社会福祉学科	選択	3	17
保育実習Ⅰ	社会福祉学科・保育専攻	選択	3	9
保育実習指導Ⅰ	社会福祉学科・保育専攻	選択	3	9
保育実習Ⅱ	社会福祉学科・保育専攻	選択	4	2
保育実習指導Ⅱ	社会福祉学科・保育専攻	選択	4	2
保育実践演習	社会福祉学科	選択	4	9

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	私の理念は、以下の通りです。 「学生が試行錯誤できる環境をつくりだす」 学科の理念にある「要支援者」の自立生活に焦点を当てた支援活動は、保育分野では子どもの支援及び子どもを保育する保護者の支援に該当します。また、保育所保育の役割のひとつに「環境を通じた保育」の実践があります。これらを学修できるよう授業に組み込み、教育の責任を果たしていきたいと考えています。従って要支援者がおかれている環境を知るための原理・概論、その関わり方を協働で思考し実践するための環境として保育内容演習、保育実習及び実習指導等を通し、卒業後に専門職としての実践力を発揮できるような教育をすることが目標です。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p><保育の本質・目的、対象の理解に関する科目></p> <p>1.2年次の講義科目では、要支援者の理解を基本とすることを目標に、授業の中でグループワークの時間を多く設定しています。他者との意見交換を通して聴く・話す・質問する・要約する体験を積み重ねながら口頭、紙面によるプレゼンテーションの機会を多くもつよう工夫しています。また、保育現場の協力を得て子どもとの交流体験活動を通し、子ども理解と現場の環境構成を学ぶ機会を設定しています。</p> <p><保育の内容・方法に関する科目></p> <p>3.4年次では、実習を見据えて、学内演習で模擬保育に取り組み、指導計画の立案・実践・評価反省・改善までを体験しながらシラバスの目標を達成できるように授業を行っています。また、保育実習指導では実習後の振り返りをもとに報告資料の作成とプレゼンテーションの機会を設定しています。</p> <p>以上、4年間で系統立てて大学教育で重視すべき学力の三要素を意識した授業を目指しています。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>グループワークの時間を設定しています。その際にワークシートを活用し、要約して記入した内容をプレゼンテーションする機会を多くとっています。</p> <p>実習該当学年では、模擬授業（模擬保育）を行い、PDCA サイクルを意識した授業を展開しています。</p>
ICT の教育への活用	<p>各授業では、Microsoft Teams に授業資料を投稿し、事前事後学習で活用できるようにしています。また、forms を活用し、意見の交換や質疑応答に対応しています。また、プレゼンテーションソフトの活用に加えて視聴覚教材も併用し、説明を行っています。</p> <p>個別指導の要望があった場合、teams や zoom のオンライン指導も行っています。</p>
その他の創意工夫	<p>授業に関する学生からの要望は、口頭及びメールやチャットで対応しています。また、講義科目では、forms により授業の感想や理解したことを回答してもらい、次回の授業で紹介することで、他者の考えや感じ方の違いに触れる機会を設定しています（事前に、紹介することを伝えます）。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>授業の満足度は、「授業スキルに関する設問」5項目及び「授業内容に関する設問」5項目共に、5段階で4.5以上の評価を得ています。</p> <p>※第2～第4Qの状況により追記します</p>
学生の学修成果	<p>授業の理解度に関して、保育者論・保育原理・乳児保育Ⅰ・保育内容演習Ⅳ（言葉）・保育内容演習Ⅴ（表現）いずれの科目も「とてもよく理解できた」「充分理解できた」「理解できた」を合わせた選択率は100%でした。グループワークが多くみんなで話し合う機会があったというコメントや知識向上につながったというコメントがあり、一定の成果は得られていると考えます。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、授業改善アンケートの情報を基に時間配分や興味関心のある内容を授業に反映させていきます。</p> <p>長期目標としては、教育の理念・目標と教育方法の省察に努め、専門職養成のための学習環境の整備と教材研究に努めます。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	教授 吉澤英里
---------	------------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、教養教育および専門教育として、心理学関連の授業を担当しています。各学生が自己および他者の心の理解を深めるようにすることと、アカデミックスキルとしての情報検索・講読・執筆・発表の基礎を習得することが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
心理学と心理的支援	社会福祉学科	選択	1	48
こころの科学	全学科	選択	1	122
専門演習ⅡA	社会福祉学科	必修	4	8
専門演習ⅡB	社会福祉学科	必修	4	8
ストレスとメンタルヘルス	社会福祉学科	選択	2	
コミュニティ心理学	経営学科・社会福祉学科	選択	3	
産業心理学	経営学科・社会福祉学科	選択	3	
教育心理学	社会福祉学科	選択	1	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	「学生の論理的思考力を育てる」ことを教育理念としています。 卒業研究とは「現状を知り、課題を見出す」「課題の解決方法を考える」「考えた解決方法を試してみる」「結果を検証する」「検証の成果と課題を振り返る」といった一連の知的活動を行うものです。そして、自身が行った一連の過程を「論理的に」他者に伝えるものが卒業論文です。 論理的思考力は汎用的なスキルと捉えられており、卒業後にも求められるものです。そうした素養を身につけてもらえるような教育のデザインをしていきたいです。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	授業の中では、各学年に合わせた段階設定を目指しています。1年次配置の科目は「科目に関する基礎的な知識の習得」と「レポート(学術論文)の書き方の基礎的理解」が、2年次配置の科目は「課題の発見」と「レポートの書き方の洗練化」が、そして、3年次配置の科目では「課題の発見および解決方法の提案」と「論理的な情報伝達」ができるように、それぞれ課題を設
----	--

	定めます。 課題とは主にレポートとプレゼンテーションのことを指します。課題に対するフィードバックをとおして、上記の課題達成を目指します。
アクティブラーニングについての取組	演習問題に取り組む時間を設けるといった、能動的活動を行う時間を取っています。
ICT の教育への活用	学習管理システム (Microsoft Teams) を通した授業資料の事前配布により、学生が授業時間前に自宅で予習ができるようにしています。同時に、授業後の復習として活用することもできます。
その他の創意工夫	毎回、授業後に質問やコメントを書いてもらい、それを次の回の授業冒頭に全員で共有しています。(ただし、「共有してほしくない」というコメントについては非共有としました) これにより、他の履修生の考えに触れる機会を作っています。また、授業時間外は Microsoft Teams の個別チャットや研究室 (対面) で質問に随時答えています。

4. 教育の成果 (その方法を行った結果、どうだったか?)

授業改善アンケートの結果	設問 10) 全体的にどの程度満足していますか? という項目に対して、「とても満足」～「満足」の選択率は以下の通りであった。こころの科学: 94%、心理学と心理的支援: 93%。
学生の学修成果	授業改善アンケートの設問 8) この授業の内容は理解できましたか? という項目に対して、「とても良く理解できた」～「理解できた」の選択率は以下の通りだった。こころの科学: 94%、心理学と心理的支援: 88%。

5. 今後の目標 (以上を踏まえて、今後どうするのか?)

短期的目標としては、各学生が興味を持てる話題を把握し、レポート作成のテーマ選びに反映させます。長期目標としては、心のメカニズムを直観的に理解しやすい視聴覚教材づくりを行っていきます。

6. 添付資料 (根拠資料)

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

レポート課題

試験問題

スライド資料 (配布資料)

オンライン・コメントシート (質問票)

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	特任教授 尾西則昭
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

私は教養教育、専門教育として、健康、運動、歴史関連の授業を担当しています。学生諸君が自らの健康、運動、歴史に関する基礎知識に一層深い関心を持ってもらい生涯の健康等について役立て、色々な分野を総合的に学んでもらうことと、基礎知識を習得してもらえるようにするのが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナール 1A・1B	全学科	必修	1	4
基礎ゼミナール 2A・2B	全学科	必修	2	5
身体表現	社会福祉学科	必修	1	14
体育史	経営学科	必修	2	19
レクリエーション概論	経営学科	選択	2	
健康科学	社会福祉学科	必修	1	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。特別支援教育・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	学生に様々な運動を通して、体を動かすこと、グループ学習の楽しさを体験させ、保育者として求められる基礎体力や運動能力、運動の基礎知識、を身につけさせることが私の教育理念です。そのために、生涯にわたる自らの健康づくりに必要な資質能力を身に付けさせることを目標とします。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は？)

授業	初回の授業では、アイスブレイキングのテクニックを使い学生とのコミュニケーションをとるようにしている。また、授業の中では、ビデオ、ディスカッション、講義、グループ学習、相互学習などの多様な学習活動を展開することによって知識・技術・判断力・興味、関心、理解度を身につけさせることを目標としている。また、授業終了時には次回の内容を紹介し、今回の授業とのつながりを確認します。前回の復習から始まり、次回の予告で終わるという循環系の授業システムをとることで、学生の記憶効率を高めることが期待できます。
アクティブラーニング	授業でテーマを決め、そのテーマに沿って各自で下調べをし学生一人一人が調べたものに対して授業で発表を行い、ディスカッションなどの方法を取り

についての取組	入れている。
ICT の教育への活用	学生の研究発表で、学生が ICT を活用しながら説明等ができるように授業を行っている。また、成果に対しては細かなフィードバックをできるように行っている。
その他の創意工夫	毎回の授業最後に振り返りシートを提出させ、今日の授業で何について学んだかまた、学んだことについて理解できたこと、あるいは理解できなかったことを記述させて、次回の授業で反映させている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	授業改善アンケートの「全体的にどの程度満足していますか」という項目に対して【身体表現】「とても満足できた 50%」～「充分満足できた 25%」～「満足できた 25%」選択率の結果は下記のとおりであった。 身体表現 100% 【体育史】「とても満足できた 75%」～「充分満足できた 19%」～「満足できた 6%」体育史 94%の評価をもらった。
学生の学修成果	授業改善アンケートの「全体的にどの程度理解していますか」という項目に対して【身体表現】「とてもよく理解できた 58%」～「充分理解できた 17%」～「理解できた 25%」選択率の結果は下記の通りであった。 身体表現 100% 【体育史】「とてもよく理解できた 69%」～「充分理解できた 25%」～「理解できた 6%」選択率の結果は下記のとおりであった。 体育史 100 の評価をもらった。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

授業改善アンケートを参考にして、学生がいかに満足できるような学習内容、理解度も深めさせるよう工夫をする。また、最新の情報の提供に努め、分かりやすい授業展開を心がけて行きたいと考えています。
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	特任教授 木村浩紀
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

私は、教職関係の教職論や教育行政学、視覚障害教育総論など特別支援教育に関する授業を担当しています。教員を目指す学生が、それぞれの専門科目で身に付けなければならない基礎的・基本的内容や教員としての心構えなどを育てるようにすることが、私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
教職論	全学科	選択必修	1	38
視覚障害教育総論	全学科	選択必修	1	13
基礎ゼミナール I A・B	全学科	必修	1	1
特別支援教育実習 (事前指導)	全学科	選択必修	4	9
特別支援教育実習 (事後指導)	全学科	選択必修	4	9
特別な教育的ニーズの理解とその支援	全学科	選択必修	1	43
教育実習 (事前・事後指導)	全学科	選択必修	4	30
教育実習 (事前・事後指導)	全学科	選択必修	4	22
学校インターンシップ (学校体験活動)	全学科	選択必修	3	28
学校インターンシップ (学校体験活動)	全学科	選択必修	4	20
教育行政学	全学科	選択必修	2	
介護等体験指導	全学科	選択必修	3	
教員採用試験対策プログラム	全学科	選択	2	27

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と社会福祉学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。

個人の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材や教員としてふさわしい人材を養成する。特に特別支援教育や社会分野等の教職において活躍し得る、献身的で専門性の高い人材を養成する。
------------	--

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	授業の中では、振り返りシートへの記入を行うことで、各回の理解度を高め、知識の定着を図っています。また、各テーマについて学生同士が意見交換やレポートを作成することで、自分の考えを整理して伝えたり、他者の意見を参考にするなど、多様性への理解についても養ってもらうことを目指しています。
アクティブラーニングについての取組	授業中に、各テーマに沿って考え、学生同士が論議するなど能動的活動に取り組む時間を多く取っています。
ICTの教育への活用	PCなどのITを活用した学生の模擬授業など、学生がICTを活用しながら説明等ができるように授業を行っています。
その他の創意工夫	振り返りシートやレポートの提出で毎回の理解度を図っています。教職関係の授業では、特に発表する機会や板書する機会などを多くしています。質問への対応は、授業中にも行っていますが、授業後にチャット等でも対応しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目のいずれの項目でも4.0以上で、「とても適切だった」「とても満足できた」が多く、一定評価を得ることができました。学生の自由記述からも「授業内容がわかりやすかった」とのコメントを受けています。
学生の学修成果	全員のレポートの一部を紹介することで、様々な意見や考えがあることを知るとともに、回を重ねるごとにレポートや振り返りシートの内容に工夫が見られるようになってきているので、一定の成果は得られているものと自己分析しています。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、各学科の学生がさらに興味関心をもって取り組めるように、課題や教材、指導方法の工夫に努めて行きます。</p> <p>長期目標としては、教員の希望者や採用数を増加させるなど、専門性の向上や人材の育成に取り組んで行きます。</p>
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

レポート課題、試験問題、スライド資料

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	特任教授 千葉聡美
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任（何をおこなっているのか？ 担当科目は？）

①教育の責任

私は、教職関係の主に特別支援教育に係る分野である、病弱教育、肢体不自由教育などの授業を担当しています。教員を目指す学生が、障害のある子どもたちについて知っておくべき基礎的・基本的内容を身に付け、教育現場に出たときに戸惑わずに教員としての一步を踏むことができるようにすることが、私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
肢体不自由教育Ⅰ	全学科	選択必修	1	12
肢体不自由教育Ⅱ	全学科	選択必修	2	10
病弱者の心理・生理・病理	全学科	選択必修	2	10
病弱教育	全学科	選択必修	3	11
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	2
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	3
特別支援教育実習（事前指導）	全学科	選択必修	4	9
特別支援教育実習（事後指導）	全学科	選択必修	4	9
教育実習（事前・事後指導）	全学科	選択必修	3	48
教育実習（事前・事後指導）	全学科	選択必修	4	24
学校インターンシップ （学校体験活動）	全学科	選択必修	3	28
学校インターンシップ （学校体験活動）	全学科	選択必修	4	20
教員採用試験対策プログラム	全学科	選択必修	1	28

2. 教育の理念（どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？）

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
-------	---------------------------------------

教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	人間への興味関心を持ち、深く思考できる人を育てることを教育理念としています。障害だけに目を向けるのではなく、障害のある子どもの内面や人格を大切にし、人に寄り添う気持ちを持った教育者となるよう、頭だけではなく身体を使った体験を大切にしています。共感のベースは自分の気持ちや感覚を通して相手の感じていることに近づくことにあり、豊かな想像力が必要です。自分自身への内省を繰り返しながら子どもを理解しようとする姿勢と、子どもからの発信に気づける感受性を身に付けてもらえるような授業を目指したいです。 【社会福祉学科】

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	授業の中では、車椅子の操作や体の動きの制限体験、摂食指導、二次調理による形態食作りなど、実技を盛り込んでいます。実技やテーマに沿って感じたことをまとめ、問題の分析、「自分が教師だったらどうするか」を振り返りシートにまとめることで、教師の立場で物考える練習をしています。実技では、介助する側される側の気持ちを述べ合うなど、「自分はどう感じたか」を言葉にすることで当事者の思いに迫るようにしています。また、その時のテーマについて学生同士が意見交換やレポートを作成することで、自分の体験や考えを整理して伝えたり、他者からの視点で物事を捉え直すことで、多面的な理解につなげていくことを目指します。
アクティブラーニングについての取組	授業中に、各テーマに沿って考え、学生同士が論議するなど能動的活動に取り組む時間を多く取っています。その時間のレポートや資料はポートフォリオにして後から思考の変化を振り返られるようにしています。
ICT の教育への活用	PC などの IT を活用した学生の模擬授業など、学生が ICT を活用しながら説明等ができるように授業を行っています。また、必要資料は Teams を使って受け渡すなど、日常的に機能を活用する習慣をつけています。

その他の創意工夫	授業のはじめに、毎回前時の内容をミニテストで振り返り、授業の最後はその時間の内容に即したテーマでレポートの提出を求めています。 質問への対応は、授業進行に支障がない程度に対応しますが、より深い内容での質問は個別に対応しています。
----------	---

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	各担当科目の設問 10 の満足度評価では、「とても満足」「十分満足」を選択した学生が 88%であり、一定評価を得ることができました。学生の自由記述からも「動画や病弱者を題材にした映像作品の紹介もあり様々な情報がたくさんあってよかった」とのコメントを受けています。
学生の学修成果	毎回の授業の中で気づけたことを自分の言葉でレポートに書いていることから、授業を通して何が分かったのか確認でき、一定の成果は得られているものと自己分析しています。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

短期目標としては実技の物珍しさだけでなく、実技を通して理解することにフォーカスした取り上げ方を追求していきます。

長期目標としては、資料の重複を避け、より充実した教材づくりを行っていきます。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo->

レポート課題

スライド資料（配布資料）

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	特任教授 西崎 毅
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

私は、本学の教職課程において、教育学及び教科教育学関連の科目を担当するとともに、教職関連の修学基礎教育科目を担当しています。教職課程で学ぶ学生が、「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」、「教育課程の意義及び編成の方法」及び「総合的な学習の時間の指導法」等について学修し、教員に求められる知識・技能や実践的指導力を身に付けることができるよう指導・支援を行うことが私の教育の責任であると考えています。

また、外国語関連の教養教育として、英語の基礎科目を担当しています。学生が、基礎から系統的に英語を学修し直し、英語の統語構造を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導・支援を行うことが私の教育の責任であると考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	6
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	8
基礎英語Ⅰ・Ⅱ	社会福祉学科・デザイン学科・建築学科	必修	1	34
教育原理	全学科	選択	2	51
教育史	全学科	選択	1	
教育課程論	全学科	選択	2	32
総合的な学習の時間の指導法	全学科	選択	3	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？ 育てたい学生像など？)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	授業こそが大学教育の質保証の要であることを念頭に置き、常に授業の充実・改善に最大限の労力を払うことを自らの教育理念としています。 教職課程教育（教職関連の修学基礎教育科目を含む）においては、「教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常に持ち続ける教員」、「教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員」、「学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員」を育てることを目標としています。 外国語関連の教養教育においては、初等中等教育段階における英語学習の

	総復習を行い、「英語を使用して他者のメッセージを理解したり、自分のメッセージを発信したりすることのできる学生」を育てることを目標としています。
--	---

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>質が高く満足度の高い授業を実現するため、授業において、次の事項を実践しています。</p> <p>①主体的に学修に取り組む学生の学修権を最大限尊重するため、授業規律を徹底すること。</p> <p>②学力の三要素を効果的に育成するため、アクティブラーニング及び観点別学修評価を徹底すること。</p> <p>③主体的な学修に要する総学修時間を確保するため、準備学修・事後学修を徹底すること。</p> <p>④学修効果を高めるため、全ての授業においてプリント教材を作成・配布すること。</p> <p>⑤学修効果を高めるため、全ての授業においてプレゼンテーションソフトウェアや書画カメラを使用して説明を行うこと。</p> <p>⑥課題について、観点別の評価とコメントによりフィードバックを行うこと。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>教職課程科目においては、各回のテーマに基づき必要な事項を講義するとともに、主体的・対話的で深い学びを実現するため、テーマに関連する事項に関して、グループワークを中心として思考・考察、意見交換、発表等の一連の活動を行っています。</p> <p>「基礎ゼミナールⅠA・B」「基礎ゼミナールⅡA・B」においては、グループワークを中心として思考・考察、意見交換、発表等の一連の活動を行っています。</p> <p>「基礎英語Ⅰ・Ⅱ」においては、学生が自分で考えたり、他の学生と協働したりして学修を進めることができるよう、授業内容を工夫しています。</p>
ICTの教育への活用	<p>全ての授業においてプレゼンテーションソフトウェアや書画カメラを使用して説明を行っています。</p> <p>全ての授業において、Microsoft Teams/Formsの諸機能を活用し、意見交換、質問、小テスト、教材配布等を行っています。</p>
その他の創意工夫	<p>授業に係る学生からの要望については口頭及びメール等で対応しています。</p> <p>障害等により、特別な配慮を必要とする学生については、事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員（大学）が同意のもと修学サポートを行っています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>「基礎英語Ⅰ」 「授業満足度」は、「満足した」以上が97%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が97%でした。</p> <p>「教育原理」 「授業満足度」は、「満足した」以上が95/94%（社会福祉学科以外／社会福祉学科）、「熱意」は、「そう思う」以上が95/94%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が95/100%でした。</p> <p>「教育課程論」 「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。</p> <p>「教育史」 第3Q終了後に追記</p> <p>「基礎英語Ⅱ」 第3Q終了後に追記</p>
--------------	---

	<p>「総合的な学習の時間の指導法」 第4 Q終了後に追記</p>
学生の学修成果	<p>授業改善アンケートの記述部分において以下のような成果が確認できました。</p> <p>「基礎英語Ⅰ」 「分からない所をそのままにする事が出来ないくらい、質問しやすい授業でした。内容も分かりやすい上、面白く工夫されていて、毎週月曜と水曜が楽しみになっていました。」 「先生が面白い事と先生のまとめ方が簡潔であり、みやすく、何度も同じことを繰り返して覚えられるようにするという授業はとてもわかりやすく頭に粘着するなと思い良かったと思いました。」</p> <p>「教育原理」 「グループワークが多く、与えられた課題について協同して取り組むことができた。資料も分かりやすく、説明も丁寧だったので内容がよく理解できた。」 「先生がとても熱意を持って授業を行っていて、実際に現代の教育に必要とされている事を交えて授業をしていてとても分かりやすかったです。また私語をすぐ注意してくれて、授業の説明や他の人の発表が聴きやすくてとても良かったです。」</p> <p>「教育課程論」 「楽しかったです。ありがとうございました！」 「グループワークや発表を取り入れているのがとてもいいと思いました。」 「課題が多すぎるので1週間に1枚など減らして欲しいです。」 「教育について熱心に教えてください、とても勉強になりました。」 「休んだ分の補講も授業と同じように教えていただけ、とても満足しています。」 「グループワークにより、協働性が養われた。」 「教育について深く思考し、意見を共有することができた。」</p> <p>「教育史」 第3 Q終了後に追記</p> <p>「基礎英語Ⅱ」 第3 Q終了後に追記</p> <p>「総合的な学習の時間の指導法」 第4 Q終了後に追記</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

授業改善アンケートにおける授業満足度が、すべての科目において100%となるよう、一層の授業改善に努めます。また、学生が、学力の三要素を高いレベルで身に付けることができるよう、指導・支援の個別化、学修の個性化を一層重視し、個別最適な学びを実現してまいります。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

教材、レポート課題、試験問題

R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP01（基礎英語Ⅰ・Ⅱ）第3 Q終了後追記

R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP02（教育原理）

R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP03（教育課程論）

R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP04 (教育史) 第3Q終了後掲載
R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP05 (総合的な学習の時間の指導法) 第4Q終了後掲載
R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP06 (基礎ゼミナールⅠA・B)
第4Q終了後追記
R05(2023)社会福祉学科／西崎 毅 TP07 (基礎ゼミナールⅡA・B)
第4Q終了後追記

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	特任教授 堀川厚志
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、特別支援教育免許状取得に関連した教職課程科目を担当しています。障がいのある児童生徒に対する適切な教育に関する知識・技能を身に付け、特別支援教育の推進に必要な思考力・判断力・表現力等を養い、積極的に学び、かかわる意欲を高めることが私の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
特別支援教育総論	社会福祉学科	必修	1	9
発達障害等教育総論	社会福祉学科	必修	3	9
専門演習ⅠA	社会福祉学科	必修	3	3
専門演習ⅡA	社会福祉学科	必修	4	3
特別支援教育実習 (事前指導)	社会福祉学科・経営学科	自由	3	10
教員採用試験対策プログラム2年	全学科	選択	2	34
教育実習	社会福祉学科	自由	4	9
学校インターンシップ (学校体験活動) 3年	全学科	自由	3	34
学校インターンシップ (学校体験活動) 4年	全学科	必修	4	23
卒業論文	社会福祉学科	必修	4	3

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	特別支援・社会分野の教職においては、一人一人の学生との対話を重視し、理解することを通して学びの意欲を引き出し、これからの社会をたくましく生き抜く人材を育成したいと考えます。 教職課程においては、教員としての高い使命感や倫理観、専門性向上、学び続ける姿勢等をもち、将来の社会を担うことになる子供たちに対して適切な教育を展開できるような人材を育成することを目指しています。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>授業の中では、「深い知識・理解」「周囲との協働」「自分なりの表現」を基本方針とし、社会に出てから（教職に就いて）も不可欠である自ら学び、協働により、自分の考えや課題、目的をもって活動に取り組む姿勢・態度が育成できると考える。</p> <p>「深い知識・理解」では、全ての授業のテキスト（スライド資料）を作成し、授業ごとに課題（授業のねらい）を明示している。資料中の重要な部分には、色付けや下線を引くなどして明示し、また空欄として自分で記述し穴埋めをさせるなどして、知識理解を深めるようにしている。</p> <p>「周囲との協働」では、毎時、前時の振り返りを実施する中で、ペアワークや小集団での協議時間を設け、他者や他集団への発表を実施している。また随時協議の時間を設定し、他者と意見交換の機会をつくり協働による取組の機会を設定するようにしている。</p> <p>「自分なりの表現」では、授業の振り返り場面として、重要事項を内容とする小テストを実施し、重要な内容の理解を深めるとともに、自分の考えを記述できるようにしている。</p> <p>学びづらさや生活へのしづらさがある学生が履修することも少なからずあることから、全体的な配慮として、授業全体の見通しをもてるように導入段階で前時の内容やメインとなる内容、進め方、アクシデントの予防と発生時について、あらかじめ説明するようにしている。説明の際には、ゆっくりとした口調を意図的に行い、重要な内容を繰り返し伝えるようにしている。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>前述のとおり、授業の中で「深い知識・理解」「周囲との協働」「自分なりの表現」を進める活動を設定している。</p>
ICTの教育への活用	<p>スライド資料を基本に、内容によっては画像や映像を交えて、プレゼンテーションを実施している</p> <p>履修生によっては、基礎学力、理解の仕方や程度が異なるため、授業の内容を全員が同様に理解し定着するわけではない。随時、タブレットやスマートフォンなどで補足的に情報を得ることも可能としている。</p>
その他の創意工夫	<p>履修生の授業態度を勘案にして、前時の振り返りと本時の内容の間に5分間の小休憩をとることがある。</p> <p>レポート課題や本テストなどの全体連絡や個別の指示など、随時迅速に対応できるようにチャットなどを活用して行っている。</p> <p>また、障がいの状態等による学びづらさがある場合には、状態等に応じてできる限り個別的な配慮を実施している。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>授業改善アンケートにあるシラバス・評価方法等の説明、話し方、時間配分、教材、理解度に応じた進行、内容への関心、内容の理解、熱意、全体の満足度については、すべておおむね良好な結果であった。</p> <p>内容の理解については、1名が「あまり理解できなかった」と回答している。また、自由記述にはないが、スライド資料の文字の大きさ（やや小さいか）にやや難があるように感じた。</p>
学生の学修成果	<p>教職、なかでも特別支援教育に関する基本的な内容については、全てを網羅していることから、一人一人が基本的な知識、内容等を概観できたと考えられる。</p> <p>全体の内容量（ボリューム）が大変多いことから、特に重要事項についてはその都度クローズアップし強調していることから、修得に至っていると思われる。しかし一方で、全ての内容の詳細については、深く理解するまでには至っていないと思われる。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

短期的には、スライド資料の文字を太文字にするなど、見やすくわかりやすくする。また、全体の内容量（ボリューム）が多いのは避けられないが、中でも最も重視すべき内容を強調することなどを維持して、さらに関連する内容の詳細についても、確実に定着できるよう提示方法を工夫する。

長期的には、これまでと同様に、実際に教育的な対応をする場面で、実際に生きて働く知識として定着させるため、常に実践と結びつけ実際のイメージをもたせるようプレゼンテーションや説明の工夫を進める。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

レポート課題、試験問題、教材

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	准教授 大島康雄
---------	------------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、共通教育関連のキャリア支援として、キャリア支援演習Ⅱ・Ⅲの授業を担当しています。他にも社会福祉関連の専門科目として、ソーシャルワーク演習(専門) ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉制度論、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ、福祉サービスの組織と経営、基礎演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、専門演習ⅠA・ⅠB、ⅡA・ⅡB、卒業論文を担当している。各学科の学生が、それぞれの専門科目で学習する内容を身につけるための基盤としてのソーシャルワークの基盤を育めるようにすることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
キャリア支援演習Ⅱ	全学科	必修	1	271
キャリア支援演習Ⅲ	全学科	選択	3	211
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	社会福祉学科	選択	2	38
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	社会福祉学科	選択	2	38
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	社会福祉学科	選択	2	39
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	社会福祉学科	選択	2	37
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	社会福祉学科	選択	2	38
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	25
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	社会福祉学科	選択	3	25
精神保健福祉制度論	社会福祉学科	選択	2	
ソーシャルワーク実習Ⅰ	社会福祉学科	選択	3	25
ソーシャルワーク実習Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	25
基礎演習ⅠA・B	全学科	必修	1	6
基礎演習ⅡA・B	全学科	必修	2	5
専門演習ⅠA・B	社会福祉学科	必修	3	10
専門演習ⅡA・B	社会福祉学科	必修	4	1
卒業論文	社会福祉学科	必修	4	1
福祉サービスの組織と経営	社会福祉学科	選択	4	41

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と〇〇〇〇学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。 【〇〇〇〇学科】

<p>個人の教育 理念・目標</p>	<p>共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】</p> <p>知識や教養の修得と共に、個々の学生の感性や感覚の練磨につとめ、感受性豊かで想像力や表現力や創造力のある人間形成を行うこと。 教職を目指す学生には、美術ならではの教育方法の特質と役割とを認識させ、教育現場での授業等において、それらを反映させ実践できる人材の育成を行うこと。研究に関しては、常に一人ひとりの学生に寄り添い、それぞれの特質を把握し、効果的な教育方法を展開させられるようにすること、また、美術についての専門的な知識や技能等を、十分に社会に還元させることを目標とする。 【デザイン学科】</p> <p>人びとの生活から社会活動の基盤となる建築・都市環境に関わる専門知識を有し、これらを構築する豊かな創造力を持ち、社会に貢献する建築技術者を育成する。また、工業（建築）分野の教職において活躍できる人材を育成する。 【建築学科】</p> <p>企業の会計管理・国際経営戦略などを中心とした諸理論を学ぶだけでなく、経営を広い視点から捉え、地域社会やスポーツビジネスのような様々な社会的活動も経営対象と捉え、幅広い視野と国際的かつ地域に根ざした経営感覚を持つ幅広い人材を養成する。また、これらの学びの中から次世代を育む指導者を育成し、スポーツソーシャルワーカーや保健体育・商業等の教職において活躍し得る人材を養成する。 【経営学科】</p>
------------------------	---

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

<p>授 業</p>	<p>授業の中では、「自分で考える」「自分で表現する」「他者とのコミュニケーションを図る」ように学生たちを導くことで、創造的判断力と論理的構成力を養ってもらうことを目指しています。</p> <p>「自分で考える」 学生が受動的学習に留まらないように、自分で考える・自分で調べる・自分で答えを模索する・学生同士で話し合うといった能動的活動に導くことで、ソーシャルワークの理論や技術の基礎が身につくような授業実践を心がけています。</p> <p>「自分で表現する」 学んだ理論を演習などで表現し、それを修正して自分のものにしていく SEKI モデルを活用して深い学びにしていきます。ロールプレイした結果を言葉で説明するのはもちろんのこと、視覚的表現なども用いて他者に伝える練習を、レポート作成や発表会などを通じて行っています。</p> <p>「他者とのコミュニケーション」 学習する上で、自分や他者が理解し切れなかった部分を共有し、お互いに教え合うことも重視しています。教え合うという活動は教わる側だけではなく教える側にも、人に説明することによりプレゼンテーション能力を磨きながら自分の理解度を改めて確認できるという学習効果が期待できます。</p>
<p>アクティブ ラーニング</p>	<p>授業中に、演習課題や学生同士の議論などの能動的活動に取り組む時間を多く取っています。</p>

についての 取組	
ICT の教育 への活用	学習管理システムを通じた授業資料の配布により、学生が授業時間外も自学自習できるようにしています。また、PC などの IT 機器を活用してソーシャルワークの知識などを学びやすいような授業を行っています。
その他の 創意工夫	演習課題などを提出してもらって理解度を測っています。 授業中に取り演習の時間に、質問への対応を行っています。授業時間外ではメールで質問に対応しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善 アンケート の結果	外部の方のお話も2回聞くことができ、とても参考になりました。また、先生のお話もユーモアあり、かつためになる話を多くしてくれました。就職活動で参考になる話しをしていたので良かった。
学生の 学修成果	授業に興味を持ってくれたという内容が数点あり、学生の就職にも結び付く活かせる知識を提供できたと思います。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、各学科の学生が興味を持てる題材を把握し、ソーシャルワークを学ぶ際の課題に反映させていきます。</p> <p>長期目標としては、ソーシャルワークを学ぶための基礎資料の教材作りを行っていきます。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	桜井 美帆子
---------	------------------	-------	--------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、社会福祉関連の教育として、ソーシャルワークに関する授業を担当しています。学士(社会福祉学)として備える、社会福祉に関する知識や技術の修得と共に、社会福祉の視点を育めるようにすることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
ソーシャルワークの基盤と専門職	社会福祉学科 経営学科	必修 選択	1 1	47 22
高齢者福祉	社会福祉	必修	2	50
ソーシャルワーク演習Ⅰ(専門)	社会福祉	選択	2	14
基礎ゼミナールⅠA	全学科	必修	1	17
基礎ゼミナールⅡA	全学科	必修	2	16

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	社会福祉の価値や倫理をベースとし、福祉実践に必要な、知識と技術を身に付け、それらを社会情勢に合わせ応用できる能力を備えた人材を育てることを教育理念としています。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授 業	授業の中では、「マナーを守る」「疑問を持つ」「多様性について理解する」ように指導を行い、思考力や判断力、実践力を養ってもらえることを目指して
-----	--

	<p>います。</p> <p>「マナーを守る」 大学教育で改めて教授する事柄ではないかもしれませんが、社会生活を送る上で、まして対人援助職を目指すにあたり、欠かすことのできない部分と考えるので、あいさつや礼儀等について折に触れ伝えるよう心がけています。</p> <p>「疑問を持つ」 社会福祉に関する書籍等は抽象的な表現が多いよう感じています。それらを丸暗記して理解したつもりでは、最適な福祉実践に繋がると限らないと考えるので、適宜、逆説的な問いかけをし、考える機会を作るとともに、自分の意見を率直に発言ができるような雰囲気づくりを心掛けています。</p> <p>「多様性について理解する」 授業では、グループワークを取り入れ、他者とのコミュニケーションをとおし、様々な価値観を知ると共に、互いの意見を尊重しあうことを重視しています。同時にチームワークを学ぶことも目指しています。</p>
アクティブラーニングについての取組	授業中に、議論の機会を設けています。その際は、他者の人権や権利を侵害しない限り、自由な発言を歓迎するとともに、発言が的外れな内容でも否定をしないことを重視しています。
ICT の教育への活用	チャットを利用し、授業の質問に対応をしています。
その他の創意工夫	毎回レジメを用意し、それに書き込みを加えることで授業の復習に役立てるようにしています。又、単元が終わるごとに確認テストを行い理解度を確認しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	学生の自由記述欄から、確認や復習が充実していたとコメントを受けています。
学生の学修成果	ポイントを繰り返す、教科書にマーカーする部分の指示や、確認テストの活用など、勉強の方法が身に着ける一助になったと思います。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、新聞やニュースに触れる機会が少ない学生が多い様子なので、授業内容に関連した新聞記事を取り入れ、社会情勢に少しでも関心をもつよう働きかけます。</p> <p>長期目標としては、卒業時に自分の福祉観をもつことができるよう、講義以外のゼミやオフィスアワーを活用し、議論をする機会を設けていきます。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	准教授 杉本大輔
---------	------------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私はソーシャルワーク実習教育を中心に、家族、釈迦調査に関連する科目を担当しています。ソーシャルワーク実習教育に関しては実習前、実習中、実習後の各段階において習得すべき知識・技能を明確に提示し、学生に習得させ、ソーシャルワーカーの後継者養成の一翼を担うこと、家族関連についての科目は保育士養成に関連する科目が中心で、家庭内における育児の重要性と家族関係及び保育園と家庭、そして地域社会との連携の重要性を学生に理解させること、社会調査に関係する科目では、調査という視点から社会的現象を客観的に観察する視点を学生に習得させること、以上が私の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナール I AB	全学科	必修	1	6
基礎ゼミナール II AB	全学科	必修	2	6
専門演習 II AB	社会福祉学科	必修	4	1
卒論指導	社会福祉学科	必修	4	1
ソーシャルワーク実習指導 I	社会福祉学科	選択	2	30
ソーシャルワーク実習指導 II	社会福祉学科	選択	3	4
子ども家庭福祉	社会福祉学科	選択	1	40
ソーシャルワーク演習 (専門) I II	社会福祉学科	選択	2	15
基礎統計演習	社会福祉学科	選択	2	10
子ども家庭支援論	社会福祉学科	選択	2	20
社会的養護 I	社会福祉学科	選択	3	10
社会的養護 II	社会福祉学科	選択	3	10
子育て支援	社会福祉学科	選択	3	10
社会福祉調査の基礎	社会福祉学科	選択	3	40

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	クライアントに直接かかわるソーシャルワーク技法を習得させるだけでなく、クライアントの家族関係、周囲の人間関係、活用している地域資源等を理解させて、人間とは多様な人間関係の中で生きている、ということを経験させ、その関係性の類型(家族・兄弟関係、親類関係、友人関係、地域における付き合い、仕事先での同僚・上司・後輩との関係、地域社会における社会資源との関係など)を具体的に顕現化して理解し、クライアントのニーズが、上記関係性の、どこに齟齬があるときに発生するか、という視点の開発と、その発見の方法、関係間の観察法を工夫し習得させることを目標としております。ソーシャルワークは人間の関係性を考

	察し、必要に応じて人間同士をつなげてゆくことを探求する学問である、というのが私の理念です。その理念に基づき、よりよい感性を構築させていくために必要な視点を開発し、学生に習得させることが私の教育理念です。
--	---

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	<p>授業では「基礎理論の習得」「多様な事例の活用」「学生自身で考える」「グループワーク」を通して、学問的な基礎理論を通して、事象を客観的に考察し、自分なりの視点・考えを構築し、さらに他者との議論によって、その視点を修正・再構築させ、さらに他者の意見から学ぶ姿勢を身に着けることを重視しています。</p> <p>「基礎理論の習得」 私が担当しているすべての科目は、社会福祉、保育における現場での実践性を学ぶものが大半です。ゆえに、ともすれば、一つの実践方法に凝り固まって、視点が狭くなってしまいがちです。ゆえに、授業においては、その事例を考察するための社会学、社会福祉学の基礎理論を提示して、どの視点から、どのように考察するかを学生に習得させるところから始めます。</p> <p>「多様な事例の活用」 これは特に「子育て支援」「社会的養護ⅠⅡ」「子ども家庭支援論」「子ども家庭福祉」「ソーシャルワーク演習」などで重視しているのですが、たとえば家族が抱える問題（児童虐待など）の発生において、一つの事例だけではなく、同じ問題でも、多くの事例を用いることによって、発生原因が異なることを理解させます。それによって、一つの事例に拘泥することなく、多様な視点から問題を検証することが可能であることを理解させます。</p> <p>「学生自身で考える」 基礎理論を習得して、多様な事例を検証したのちに、学生一人一人にその事例の検証をさせ、発表してもらいます。それによって、学生一人一人の学習成果を確認します。</p> <p>「グループワーク」 「社会的養護Ⅱ」「子育て支援」「ソーシャルワーク演習」で特に重視しています。4～6人ほどのグループに分かれ、課題・事例を検討し、個々の意見を出し合って、グループの総意を形成し、グループごとに発表してもらい、学生個々の意見を修正・再構築させ、さらに他者の意見を尊重することの大切さを学ばせます。</p>
アクティブラーニングについての取組	上記、授業の中で上げた「グループワーク」の時間を各科目に導入し、学生一人一人が自身の意見を構築し、さらにグループ内でのディスカッション、グループ同士の発表を行う方法を取り入れています。
ICTの教育への活用	PCを使い、資料などを提示して講義を行います。また、ゼミナールや実習指導などでは teams 内にグループを作り、遠隔で指導ができるように工夫しています。
その他の創意工夫	Teams におけるチャットを活用して、授業内容についての質問に適宜答えています。また、ゼミナールや実習指導では LINE のグループを作り、出席や授業についての質問や、欠席がちな学生に対して連絡をし、出席を促しています。

4. 教育の成果 (その方法を行った結果、どうだったか?)

授業改善アンケートの結果	各担当科目の項目で「大変理解できた」「十分理解できた」という評価を一定以上もらっており、自由記述でも「わかりやすかった」「勉強になった」などの記述をもらっており、一定の成果があったと考えています。
学生の学修成果	グループワークで充実した意見のやり取りがあった、という意見をもらっており、一定の成果があったと考えています。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

現在行っている授業スタイルを大幅に崩すということは考えていませんが、今後、美優額してくる学生の他様なニーズにこたえられるように、臨機応変に授業スタイルを構築していく必要がある、と考えます。対面に固執することなく、場合によってはリモートも取り入れ、どのような環境であっても学生が授業に興味を持ってくれるように工夫していきたいと思えます。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	准教授 畠山明子
---------	------------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は本学の社会福祉課程における専門教員として、主に精神保健福祉士国家試験資格取得に関わる講義・演習・実習指導・実習の一連の教育課程における科目を担当しています。精神保健福祉士資格取得を目指す学生が社会福祉専門職として最低限必要となる知識、技術を習得し、実践の場で活用できる教育を行うことが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
障害者福祉	社会福祉学科	必修	2	50
専門演習 IA	社会福祉学科	必修	3	6
専門演習 II A	社会福祉学科	必修	4	5
就労支援サービス	社会福祉学科	選択	4	23
精神保健福祉援助実習指導 I	社会福祉学科	選択	3	11
精神保健福祉援助実習指導 II	社会福祉学科	選択	4	4
精神保健福祉援助実習指導 III	社会福祉学科	選択	4	4
精神保健福祉援助演習 I	社会福祉学科	選択	3	11
精神保健福祉援助演習 II	社会福祉学科	選択	3	11
精神保健福祉援助演習 III	社会福祉学科	選択	4	4
現代の精神保健の課題と支援 II	社会福祉学科・経営学科	選択	2・4	22
精神保健福祉援助実習 I	社会福祉学科	選択	3	11
精神保健福祉援助実習 II	社会福祉学科	選択	3	11
精神保健福祉援助実習 III	社会福祉学科	選択	4	4

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	教育理念 「現代社会で起きている課題に関心を持ち、その本質を明らかにするための方法を学び、課題解決の方策を考え、取り組むことができる」 目標 社会福祉専門職は個別性が高い、多様な支援対象に関わることになるため、教育の場面において、確実な知識の定着と関連する情報提供と合わせて、さまざまな要素を統合させ、自分で考え、発言・実践する力を身につけることを目標としています。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	座学による授業
----	---------

	<p>多様な社会の問題に関心を持つ一端を担う場となることから、授業のトピックに関連する書籍、動画教材等も活用し、学生の感想や疑問、反応に対応しながら双方向のやりとりを取り入れ、授業を行っています。</p> <p>グループワーク、グループ活動 社会福祉専門職は連携のなかで実践を行うことから、仲間と協力して課題解決することをねらいとして、演習をはじめ講義科目にも取り入れています。自分の意見を自由に主張できること、他者の意見を受け入れ尊重することを約束事とし、メンバー全員が納得するまで話し合い、合意形成することを重視しています。</p> <p>体験学習 社会福祉の支援対象の理解を深める取り組みとして、車いすや高齢者疑似体験セットを使用して学内を歩いてもらい、施設・設備の使いにくさを身をもって体験してもらうことや福祉用具展示会への参加、各種施設見学等を行い、体験・見学の結果をまとめ作業の後、発表するグループ活動等を実施しています。</p>
アクティブラーニングについての取組	小グループによる話し合いおよびグループの意見をとりまとめて発表する、授業の中での問いかけに対して Microsoft Forms を通じて回答してもらい、それらに対して口頭や資料を通してフィードバックを行っています。
ICT の教育への活用	Microsoft Teams を活用し、パワーポイントで作成した授業資料の配布を行い、また、Microsoft Forms の機能を併用し、小テスト、授業や演習の振り返り（自己評価および感想入力）により、授業の予・復習に役立つようにしています。
その他の創意工夫	テーマに関連する動画資料の視聴、社会福祉実践現場（障害者福祉施設や児童養護施設）の方による講義、上記体験学習等を取り入れ、社会的課題の現実や社会福祉現場の実際について興味を持ち、理解を深めることを目的とした機会を取り入れています。授業時間外の質問にもオフィスアワーや Teams のチャット機能等により積極的に対応しています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	全体を通して平均値（3点台）であるため、今後、より理解を高める授業の展開、教材の工夫が必要であることを自覚しています。
学生の学修成果	中間テスト、定期試験のほかに評価に含まない3回の小テストを入れ、知識の定着・復習の機会を取り入れた科目については、「その都度自分の理解していない所やわからないところが、確認できました」等のコメントがあり、一定の成果が出ているものと考えています。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、精神科医療、精神保健福祉、社会福祉分野の最新の実践・研究課題に関する情報収集を継続的に実施し、リアルな社会福祉問題を学生に発信できるようにします。</p> <p>長期目標としては、学生が社会福祉現場に就職すること（資格取得に限られない人材）に貢献できる養成教育を進めていきたいと考えています。</p>
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

教材

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	准教授・横田 肇
---------	------------------	-------	----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

本学において、私は共通教育の諸科目を担当しており、専門教育、生涯教育との接続を念頭に、学生における基礎的なコミュニケーション能力、リテラシー能力、何事もまず自分で思考してみる力の養成と涵養が私の教育の責任と考えている。

②担当科目

担当科目名	学科・専	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎英語 I・II	社会福祉・デザイン・建築	必修	1年	35
英語入門 I・II	社会福祉	選択	2年	14
基礎ゼミ I AB	全	必修	1年	2
基礎ゼミ II AB	全	必修	2年	5
キャリア支援演習 I	社会福祉	必修	1年	47
外国の歴史	全	選択	3年	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	私の全体的な教育理念・目標は、多くのことに興味と関心を持ち、興味と関心のあることに対してある程度広く深く学ぶことのできる学生の育成、ということである。 英語の科目では、グローバル社会で有用な言語と文化への興味と関心、理解の涵養、基礎ゼミでは、地域と日本、世界の歴史と文化への興味と関心、理解の涵養、キャリア支援では、キャリア形成に必要な知識の習得とキャリア形成のための自己啓発の推進を理念・目標としている。合わせて、各科目において、理解を深めるため、自身で思考し、課題を見つける力の養成を理念・目標としている。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	英語の科目では、所定のテキストに則し、英語の基礎的な文法の知識と運用の仕方の習得を第一の目標とし、そのための練習・課題をこなしている。また、英語という言語の性質、英語と日本語との比較等の理解・思考のための説明を合わせて行っている。基礎ゼミでは、北海道と日本、世界（主にアジア諸地域）の歴史と文化について、配布資料とともに説明し、学生との議論も織り交ぜて、理解と思考を深めるようにしている。キャリア支援では、所定のテキストに則し、キャリア形成のための基礎的な知識を伝え、合わせて、自己啓発のためのヒントとなるような話題を提供し、さらに各種課題によって思考力の涵養に努めている。
アクティブラーニングについての取組	各科目とも、可能な範囲でグループワーク、プレゼンテーションを取り入れ、学生相互の学びあいの場を提供している。
ICTの教育への活用	各科目とも、Teamsによる授業内容の一部配信、教材の提示、課題の提出とフィードバックを行っている。スライドによる授業での説明も行っている。
その他の創意工夫	各科目とも、適宜、Teamsのチャットを通して、学生との連絡・質疑応答を行っている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	どの担当科目も概ね、「理解できた」、「わかりやすかった」という学生の割合が高いため、一定の成果はあるものと考えている。
学生の学修成果	上記の通り、多くの学生にとって、学修成果はいくらかあるものと考えられるが、英語の場合、成果があまり上がらない学生が一定程度いる。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

全般的に学生の理解が進み、興味関心がもてるように今後も授業を進めたいが、英語では学力の不足する学生への対応をさらに検討、推進したい。
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	専任講師 蝦名美穂
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、心理学の中でも臨床心理学に関連した科目を担当しています。対人援助職として、人の心の有り様を理解するために必要な基礎知識を習得し、実際に人との関わりにおいてその知識を活用できるようにすることが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
カウンセリング論	社会福祉学科・経営学科	選択	4	47
臨床心理学	社会福祉学科	選択	3	8
発達心理学Ⅰ	社会福祉学科	選択	1	20
発達心理学Ⅱ	社会福祉学科	選択	1	
教育相談(カウンセリング含む)	全学科	選択	4	30
専門演習ⅠA	社会福祉学科	必修	3	5
専門演習ⅠB	社会福祉学科	必修	3	5

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	「自らの考えや気持ちを言葉として表現し、意図を持って人と関わる事ができる人材を育てる。」が私個人の教育理念です。 また、学科の教育理念・目標にある「要支援者」への支援をする際に必要な人の心の有り様(基本的知識)や今の世の中で起こっている課題について、授業の中で取り入れ考える事ができる人材を育てることを目標にしています。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	「発達心理学Ⅰ」「臨床心理学」は、人の発達過程や人の心のメカニズム等基本的知識を学ぶ科目です。座学での内容が多く、その内容について感じたこと表現することをリアクションシートの提出で毎回行いました。加えて、「発達心理学Ⅰ」では、基本的な知識の習得状況の確認のためテストを実施しました。「臨床心理学」では、学んだ内容の中から自分の興味のあることをレポート課題に設定し、自ら調べその課題について考えることをしまし
----	---

	<p>た。</p> <p>「カウンセリング論」「教育相談」では、授業者から習得すべき事柄についての説明ののちに、ワークやディスカッションを通して、自分の意見を述べ、他の人の考えに触れるなどして、課題を発見し、解決方法を考える授業を実施しました。</p> <p>「専門演習ⅠAB」では、ゼミ生に対して自ら興味のあるテーマについてプレゼンテーションをすることやお互いを知るワーク等を通して、意見交流をする土台作りをし、次年度卒業論文を執筆することにつなげます。</p> <p>「発達心理学Ⅱ」では、「発達心理学Ⅰ」で習得した知識を踏まえ、こどもやその養育者を取り巻く課題について授業者が問題提起する形で進め、受講者にはその課題解決について考え、意見の交流をする方法で授業実施予定です。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>カウンセリング論や教育相談では、学生同士の意見の交流などを取り入れ、多様な考えがあることを知ってもらえるように取り組んでいます。</p>
ICTの教育への活用	<p>実習と講義が重なり公欠となる学生向けに、授業の内容を録画したものをTeamsに保存し、いつでも視聴可能な状態としました。このような対応をすることにより、欠席時の講義の内容を見られるだけでなく、復習等にも役立てることができます。また、Teamsの課題からリアクションシートを提出してもらうことによって、学生と教員の間でのコミュニケーションが増えるように努めました。</p>
その他の創意工夫	<p>毎回、授業の理解度や質問を受け付けるためにリアクションシートの提出をしてもらっています。第2Qからは、Teamsを利用した提出をもらい、それに対して、次の授業までにコメントを返すなどして、理解度の把握や質問での回答を次回の講義で行っています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>授業アンケートの設問10 満足では、「発達心理学Ⅰ」以外の科目で「とても満足できた」「十分満足できた」「満足できた」を合わせて100%という回答となりました。「発達心理学」では、授業の内容に対する進むスピードがマッチしていなかったことにより、満足度が80%となりました。今後の課題となります。</p> <p>※第3、4Q終了後追加します。</p>
学生の学修成果	<p>理解度に関して、特に「発達心理学Ⅰ」では不安を感じている学生がいました。次の「発達心理学Ⅱ」では、この点を補うことができるように授業改善を行いたいと思います。</p> <p>今後も、リアクションシートを活用しながら、学生の授業の理解度を確認しながら進めます。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>次年度以降は、短期的には各講義で扱う内容を絞りこみ、学生が考え交流し合う時間を増やしていきたいと思います。長期的には、短期的に試みた改善の結果を踏まえ、教材づくりを行っていきます。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

リアクションシート

7. ティーチング・ポートフォリオの更新

令和5年5月30日

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	専任講師 後藤啓倫
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、教養科目の政治学入門、日本国憲法と、専門科目の社会思想史、国際政治論、日本政治史を担当しています。政治学入門と日本国憲法では、日本国憲法においてどのような基本的人権が保障されているのか、人権保障を実現するための日本の政治理念や制度に関する知識を身につけてもらいます。社会思想史、日本政治史、国際政治論では、人権思想の歴史的展開、日本政治のこれまでの展開、現代の国際社会に対する日本の取り組みに関する知識を修得してもらいます。これらを通じて、日本社会を市民、職業人として主体的に考え、担う人材を育成することが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
基礎ゼミナールⅠA・B	全学科	必修	1	9
基礎ゼミナールⅡA・B	全学科	必修	2	9
スタートアップ演習	社会福祉学科	必修	1	45
政治学入門	全学科	選択	3	139
日本国憲法	社会福祉学科・デザイン学科・建築学科	選択	3	40
社会思想史	社会福祉学科・経営学科	選択	4	44
国際政治論	社会福祉学科・経営学科	選択	3	
日本政治史	社会福祉学科・経営学科	選択	4	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会が必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	「学んだことを問う」といった学問の姿勢を育むことを自らの教育の理念としています。社会が必要とされることを創造するためには、与えられた知識を蓄えるだけでなく、その知識を駆使して疑問を持ち社会の課題を発見していくことが必要であると考えます。 これからの日本社会を支える人材を育成するため、学生が政治や憲法の基礎概念、政治の仕組み、日本政治の歴史的な展開を理解し、これら知識を総合して現在の社会の課題を発見し、俯瞰的に考察できるような能力を獲得することを目標として授業を行います。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p>教育の理念を実現するため、授業では以下のことに取り組んでいます。</p> <p>①学生が、学びに集中できるように授業環境を整えることに努める。</p> <p>②授業内容は前回のふり返りを行い、学生の知識の定着を図る。</p> <p>③学生が憲法、政治、社会に関する各科目で修得する知識を総合的に理解し考察することができるよう、授業内容の連環に努める。</p> <p>④学生が修得した知識に基づいて、意識的に「なぜ？」を問うことができるよう、授業内容を工夫する。</p> <p>⑤学習効果を高めることができるよう、授業内や ICT を活用して授業レジュメを配布する。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>双方向的な授業になるよう、Microsoft Forms を用いて毎回の授業の最後に質問やコメントを提出してもらっています。</p> <p>質問やコメントは次回の授業の冒頭で紹介し、共有してもらうことで、一つの事象に対して多様な考えがあることを理解してもらうことに努めています。</p>
ICT の教育への活用	<p>Microsoft Teams を用いて授業資料やパワーポイントスライドを配布し学生の授業理解を促しています。</p>
その他の創意工夫	<p>学生の学びの進捗状況に合わせて授業を進めています。難易度の高いテーマについては時間をかけて解説しています。</p> <p>また、授業内容に関心を持ってもらうため、時事問題の解説も適宜実施しています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>各科目の授業アンケートの結果、「満足した」以上は次の通りとなっております。授業全体としてはおおむね良好だったと考えます。</p> <p>政治学入門：94%</p> <p>日本国憲法：94%</p> <p>社会思想史：95%</p>
学生の学修成果	<p>授業アンケートの結果では、「今まで政治について知らないことが多く、テレビのニュースも進んで見たりしなかったのですが、政治学入門の授業を受けるようになってからニュース番組をよく見るようになり、政治についても興味が湧いてきました。これからは面倒くさがらずに選挙に行こうと思いました。」「難しい内容に関しては質問等で分かりやすく説明して下さい、他の例で例えてくれ講義内容がとても分かりやすかった。」などのコメントがあり、授業内容の理解については、レジュメの配布、質問への回答、時事問題の導入により一定の成果は得られたと考えます。</p> <p>しかし、理解が追いつかなかったという学生もみられるので、情報量の適切さ、レジュメ内容や口頭での説明の仕方についての工夫が必要と考えています。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、日常生活と結び付けて把握することが難しい政治、憲法、社会といったテーマを、学生の関心に引き付けた内容で解説できるように、レジュメ内容の改善、適切な情報量を意識しながら授業に努めてまいります。</p> <p>長期目標としては、憲法、政治社会に関する学びを通じて、市民、職業人として多様な人々が共生できる社会づくりに積極的にかかわることができるような人材の育成に努めてまいります。</p>
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

教材

Forms コメントシート

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	専任講師 塩崎大輔
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか？ 担当科目は？)

①教育の責任

私は人文地理学を中心に研究・教育活動を行っている。専門領域は観光・防災・地理教育といった分野である。担当する科目は人文地理学・地誌分野を中心に、教職科目を担当する。

近年、教職課程における地理学領域は、高校の地理必修化に代表されるように、グローバル化に伴う国際理解や地域課題の解決のための能力育成が求められており、その重要性が増している。

担当する授業を通して、地理学的な知見の習得及び思考・判断・表現力を養い、将来の教職への活用、ひいては地域社会に貢献できる人材を育成することが、私の教育の責任であると考えている。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
人文地理学Ⅰ	社会福祉学科・教職	選択	3	12
人文地理学Ⅱ	社会福祉学科・教職	選択	3	
地誌	社会福祉学科・教職	選択	2	
北海道誌	社会福祉学科・教職	選択	3	
社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	社会福祉学科・教職	選択	3	10
社会科・地理歴史科教育法Ⅱ	社会福祉学科・教職	選択	3	
教育実習事前指導 (3年)	社会福祉学科・教職	選択	3	
教育実習事前・事後指導 (4年)	社会福祉学科・教職	選択	4	
教育実践演習	社会福祉学科・教職	選択	4	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか？育てたい学生像など？)

建学の精神	社会が必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】

個人の教育 理念・目標	<p>地理学の領域を通じ、知識取得と能力開発を両輪とした教育の実践を行える人材を育成することが目標である。</p> <p>また、世界各国の動向についての情報を収集し、閉鎖的にならず、グローバルな環境に対応できる知識及び能力を持つことができるように教育を行う。そうした知識・能力を、ローカルな地域社会における課題解決に活用できる人材を養成する。</p> <p>また AI, ビッグデータ, XR といった最先端技術が実用化されていく中で、地理情報システム (GIS) などを活用し、情報学と地理学を融合させた新しい世代の教育を担う人材育成を進めていく。</p>
----------------	---

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授 業	<p>【地理学系科目】 地理学は土地と人との関係性を議論する学問であり、そのために地理学系科目では地理空間を適切に把握し、人との関係性を考察する能力を養う。また地域課題解決のために、こうした能力を活用できるようにするため、授業内で国内外の様々な地域課題を、地理学的視点から解説する。また、学生がイメージしやすいように、映像教材や画像資料など視覚情報も交えながら解説する。地理学的知識が地域社会でどのように応用できるのかを知ることによって、教職課程における地理学の重要性を説明する。</p> <p>【教職系科目】 小中高の教職は、初任から授業を担当する必要がある。また教育実習においても、授業参観を経て、実際に授業を行うことが求められる。こうした状況に対応するためのカリキュラムを構築し、教職課程に求められる資質・能力を養う。特に授業実施に必要な学習指導要領の理解及び指導案作成指導を中心に、教育現場の授業映像教材を用いて解説するなど、教育の実態に則した授業を行う。このように教育への理解を深めた上で、模擬授業などの実践的なカリキュラムに移り、教育能力の向上を図る。</p>
アクティブ ラーニング についての 取組	<p>地理学分野ではフィールドワークが重要であり、実際にフィールドにでて、観察眼を養う必要がある。そのために学生が地域ミュージアムなどを実際に訪れ、地域資源に触れるとともに、自分たちで活用方法を考える機会を設けている。</p> <p>またグループワークを積極的に取り入れ、教育で必要とされるコミュニケーション能力を養うとともに、自分たちがディスカッションやディベートといったグループワークに取り組むことで、グループワークの特徴を把握するとともに、教育現場において適切な活動が行えるようにする。</p> <p>教職課程においては、実践力を重視し、学生による模擬授業を中心に実施する。また社会科においては歴史・地理・公民と幅広い分野を担当しなければならないため、分野に偏りが出ないように1人の学生が複数回、模擬授業を実施し実践力を養う。</p>
ICT の教育 への活用	<p>地理学分野では、地図の活用が重要となる。現在では地理院地図や地域経済分析システム RESAS といった WebGIS が公開されており、教育現場でも広く活用されている。そのため、こうした WebGIS の利活用をカリキュラムに取り入れる。</p> <p>特に人文地理学 II では、MANDARA や QGIS といった地理情報システムを実際に活用し、空間的視点で地域課題を分析するなど、積極的に ICT を活用する。</p>
その他の 創意工夫	<p>近年、日本は巨大災害に対する防災・減災意識が高まっており、教育現場においても、児童・生徒に対する教育機関の責任・重要性が増している。そのため、大地震や津波、大雨や土砂災害といった災害に対する知識を深めるカリキュラムを取り入れている。またその過程でハザードマップポータルといった ICT を活用した災害情報収集のための手段・活用事例を最新の研究成果とともに解説する。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	【人文地理学Ⅰ】 「この授業は全体的にどの程度満足していますか。」という設問に対して、「満足できた」以上の回答が100%であった。 【社会科・地理歴史科教育法Ⅰ】 「この授業は全体的にどの程度満足していますか。」という設問に対して、「充分満足できた」以上の回答が100%であった。
学生の学修成果	中間・期末レポートから、様々な事象に対して空間的視点をもって捉える能力を向上させたと評価できる。また、各種 WebGIS の活用するスキルを身につけた。防災に関しても、学生が参加した避難実験のデータなどから、適切な情報収集行為を行う様子が確認できた。 教職科目に関しては、学習指導要領への理解が深まり、指導要領に則った指導案の作成を行うことができた。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

今後は、課題・ポートフォリオなどを活用して学生の学習状況を常に把握し、学生の実態に合わせたより適切なカリキュラム運用を行っていく。また、フィールドワークなどの地理学的なアクティブラーニングを積極的に取り入れ、地理学的なものの見方・考え方を実践的にアプローチしていく。

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	専任講師 西野克俊
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

精神保健福祉士の養成に対して、専門教員として精神保健福祉士としての、価値・理念・倫理に対して講義を行い、専門職としての技術力及び実践力の向上を図り、求められる精神保健福祉士の養成に対する指導を行っている。基本的には精神保健福祉士養成における専門科目を担当している。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
専門演習ⅠA	社会福祉学科	必修	3	6
専門演習ⅠB	社会福祉学科	必修	3	6
専門演習ⅡA	社会福祉学科	必修	4	10
専門演習ⅡB	社会福祉学科	必修	4	10
卒業論文	社会福祉学科	必修	4	10
更生保護制度	社会福祉学科	選択	4	19
精神保健福祉の原理Ⅰ	社会福祉学科	選択	1	13
精神保健福祉の原理Ⅱ	社会福祉学科	選択	2	18
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ	社会福祉学科	選択	2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ	社会福祉学科	選択	3	14
精神保健福祉援助演習Ⅰ	社会福祉学科	選択	3	12
精神保健福祉援助演習Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	12
精神保健福祉援助演習Ⅲ	社会福祉学科	選択	4	
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	社会福祉学科	選択	3	
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	社会福祉学科	選択	4	4
精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	社会福祉学科	選択	4	4
精神保健福祉援助実習Ⅰ	社会福祉学科	選択	3	
精神保健福祉援助実習Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	
精神保健福祉援助実習Ⅲ	社会福祉学科	選択	4	4

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	理念としては、「実社会に必要なとされる専門職活動を考察できる学生を育てる」としており、学生個人が専門職として活躍する際、対象者にとって存在意義のある学生を育成することで、学生自身が専門職としての意識を持ちつつ、ミクロ・メゾ・マクロの視点から必要とされる支援が何なのかやその支援を行うには何が必要かなど、あらゆる視点からの考察を行い、実社会における専門性や実践力を発揮できるような教育を行うことを目標としている。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授業	<p><講義型授業> 講義科目については、厚生労働省による学ぶべき事項に沿い、精神保健福祉領域における対象者理解をはかるとともに、精神保健福祉士としての基本的な考え方や実践理論の理解を中心としている。各科目でグループワークの導入を図り、講義によるインプットからアウトプットを図るとともに、他者の考え方や捉え方の理解を促す機会を設定している。</p> <p><実践型授業> 配属実習前の学習として、厚生労働省による学ぶべき事項に沿い、配属実習の必要性の理解を始め、心構えや必要となる知識の復習を行い、合わせて基本的なコミュニケーション能力や面談技法の習得に対して、ロールプレイを用いて実践的に理解する学習として設定している。</p>
アクティブラーニングについての取組	上記と重複するが、グループワークを導入し、知識のインプット及びアウトプットを行えるようにしている。また、他者の意見を取り入れ再考察する時間を設定するなど、一方向のグループワークとならないようにしている。
ICTの教育への活用	対人援助学習のため、基本的には対面学習としている。ICTの活用については、Microsoft Teamsを用いて、学習に対する質疑応答等に活用し、必要に応じて資料の配布を始め、学生の要望に沿った形での活用を心掛けている。
その他の創意工夫	精神保健福祉領域の理解促進のため、年2回現場ソーシャルワーカー及び当事者による講義の時間を設定し、実習前には、見学学習として精神科病院の見学及び理解を行っている。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>授業満足度(設問10)に関して 【精神保健福祉の原理Ⅰ】 とても満足できた69%、充分満足できた15%、満足できた15% 【精神保健福祉の原理Ⅱ】 とても満足できた33%、充分満足できた40%、満足できた20% 【ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ】 後期の実施 【ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ】 とても満足できた46%、充分満足できた54% となっており、比較的満足している回答が9割以上を占めている。 また、自由記述の欄には、現場実践での話に対する内容も記されており、教科書上での学習はもちろんのこと、実践例に対する評価も一定見られている。</p>
学生の学修成果	<p>満足度同様、理解度(設問8)に関しても 【精神保健福祉の原理Ⅰ】 とてもよく理解できた31%、充分理解できた31%、理解できた31% 【精神保健福祉の原理Ⅱ】 とてもよく理解できた27%、充分理解できた27%、理解できた33% 【ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅲ】 後期の実施 【ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅳ】 とてもよく理解できた38%、充分理解できた46%、理解できた15% となっており、理解できたとの回答が9割を占めているため、学習成果としても一定の基準は満たしているものと考えている。 また、実践例を聴けて良かったなどの記述も見られているため、興味・関心が向上しているものと考えている。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>今後の目標としては、授業としての成果（満足度及び理解度）について向上を図るとともに、さらなる実践理論の向上を図りたいと考える。実務家教員ならでの実践例も含め、より多くの学生が現場理解を図るとともに、考察力の向上が出来るよう教材検討も継続して行っていく。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	専任講師 星野秀治
---------	------------------	-------	-----------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、社会福祉学科の教員として、社会保障や権利擁護に関する授業を担当しています。ソーシャルワーカーを目指す学生が、社会保障の全体像の中で福祉を位置づけることができるとともに、権利擁護の本質を理解し、法的問題に対応できるセンスを身につけることができるようにすることが、社会福祉学科における私の教育の責任だと考えています。

また、全学のキャリアデザインにおいては、キャリアの議論も取り入れながら、学生の生涯キャリア設計に資する知見を提供することが私の教育の責任だと考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
社会保障Ⅰ	社会福祉学科	必修	1	42
社会保障Ⅱ	社会福祉学科	必修	1	42
権利擁護を支える法制度	社会福祉学科	必修	2	49
ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	社会福祉学科	選択	2	38
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	社会福祉学科	選択	3	14
相談援助実習指導Ⅳ(再)	社会福祉学科	選択	2	12
社会福祉特講Ⅰ	社会福祉学科	選択	4	27
社会福祉特講Ⅱ	社会福祉学科	選択	4	24
専門演習ⅠA	社会福祉学科	必修	3	1
専門演習ⅠB	社会福祉学科	必修	3	1
貧困に対する支援	社会福祉学科	必修	2	53
キャリアデザインⅡ	全学	選択	2	119

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	国際化、産業構造の変化、少子高齢化、そして価値観の多様化が急速に進み、先行きの予測が困難な複雑で変化の激しい現代社会において、共生社会の実現に資する幅広い豊かな教養と社会福祉学科の素養に裏づけられた柔軟な思考、総合的で的確な判断とそれにもとづく迅速な行動ができる論理的な分析力に裏づけられた実務処理能力のある人材を養成する。
個人の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授 業	<p>社会保障や権利擁護について、用語や数字を覚えるだけでなく、それぞれにある課題の本質を理解し、実際の問題に対して自分の頭で考えることが出来るようになる素地をつくることを目指しています。</p> <p>その為、映像資料や判例を用いて、抽象的なものになりやすいテキストの内容を、できるだけ具体的な自分たちの暮らしと地続きなものとして理解して貰えるように工夫しています。</p> <p>また、試験では論述を課し、それについてのフィードバックも用意することで、学生達に自分の考えをないがしろにせず、その上でそれを論理的に展開することの大切さを理解してもらえるように工夫しています。</p>
アクティブラーニングについての取組	<p>講義科目が多いことから、限定的になりますが、出席カードに感想や意見表明を求め、次の授業の冒頭をそれへの応答とすることで、双方向性を確保しています。</p> <p>キャリアデザインIIでは、個人ワーク、集団ワークを取り入れた授業を展開しています。</p>
ICT の教育への活用	<p>出席には web システムを用い、一部、レポートも web 提出としています。また授業で使ったパワーポイントを PDF 化し、学生に提供しています。</p>
その他の創意工夫	<p>授業の後、なるべくゆっくり後片付けをして、学生からの質問等に答えるようにしています。</p> <p>また、個別の相談も多いことから、オフィスアワーなどにじっくりと時間をとって研究室で応じることにしています。</p>

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	<p>声の聞きとりずらさを指摘するものがあつたので、マイクを選ぶなどして対応しています。また、音が気になる学生もいるので、私語について、様々な注意をしています。</p> <p>難易度の高い科目は満足度等が低く、難易度の低い科目は満足度等が低くなる傾向は仕方ないと思っています。</p>
学生の学修成果	<p>「考えさせられる授業だった」旨のコメントが多く、また、試験における論述ものびのびと自分の考えを展開するものが大半で、それなりの人数の学生に授業の内容が伝わっていると考えます。</p>

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、新しく作成する授業も多いため、テキストの内容を自分の身近な問題と地続きなものとして理解して貰えるような映像教材、判例などの準備を掘り下げていきたいと思っています。</p> <p>長期目標としては、講義中心の科目においてもアクティブラーニングをさらに取り入れるべく、大規模講義におけるワークショップのあり方などを検討していきたいと思っています。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	講師 宮崎剛司
---------	------------------	-------	---------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

保健医療と福祉の教育者としての重要な役割は、福祉と医療が相互に影響し合う一連の科目として教示することであり、学生たちが福祉を学ぶ際に必要とする知識とスキルを広範囲にわたって提供し、総合的な理解を促進することにあると考えています。また、福祉のフィールドで遭遇する具体的な問題や課題を解決するためには、医療の理論だけでなく、その知識を応用する方法を学び、さまざまな状況で適切な対応策を実践できるようにすることも重要視しています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
医学概論	社会福祉学科	必修	2	49
保健医療と福祉	社会福祉学科	必修	2	49
子どもの保健	社会福祉学科	選択	2	21
子どもの健康と安全	社会福祉学科	選択	2	13
保育演習 (健康)	社会福祉学科	選択	2	13
衛生学及び公衆衛生学	経営学科	選択	2	26
情報処理演習 I	社会福祉学科	必修	2	46
情報処理演習 II	社会福祉学科	必修	2	48
専門演習 I A	社会福祉学科	必修	3	4
専門演習 II A	社会福祉学科	必修	4	4
専門演習 I B	社会福祉学科	必修	3	4
専門演習 II B	社会福祉学科	必修	4	4

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会に必要なとされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。 高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。 【社会福祉学科】
個人の教育理念・目標	学生に専門分野の知識とスキルを効果的に提供し、思考力と応用力を育むとともに、興味と学習意欲を高める教育環境を整えます。さらに、専門職としての育成や倫理・社会的責任についての教育も重視し、最新の教育技術とフィードバックを活用して教育方法を継続的に改善することで、学生が独立した思考者として社会で成功するための多面的なスキルと知識を習得できるようにします。

3. 教育の方法（理念を実現するための考え方、方法は？）

授 業	担当科目の教育設計には、医療との多元的な視点と複雑なスキルの統合が必要であり、理論的枠組みの深い理解が不可欠です。まず、福祉と医療の相互作用を理解するためには、異なる分野からの社会への問題に対する洞察力を深めることに重要視します。さらに、理論的知識と実践的スキルの統合、批判的思考の育成、そして多様性と包摂性への理解という要素を中心に授業が設計されるべきであると考え、これにより、学生たちは社会福祉と医療の現場で、異なる文化、価値観、背景を持つ人々を理解し尊重する能力を養うことを可能とする教育実践を目指しています。
アクティブラーニングについての取組	問題中心学習、協同学習、ディスカッション、シミュレーションとロールプレイ、フィードバックとリフレクション、反転学習などの手法を用いて、これらにより、学生が情報を自分で処理し理解し、深い知識の理解と実生活への適用能力を養うことを目指しています。
ICT の教育への活用	アクティブラーニングの推進により、オンライン協同学習、リアルタイムフィードバック、オンラインポートフォリオなどが活用でき、自己主導的な学習を強化しながらも、教師は必要な改善を迅速に行うことを可能にします。これにより、学生の個別性が担保されるようにしています。
その他の創意工夫	ゲーミフィケーション、学習アナリティクスの活用、ハイブリッド学習などの実践から学生に多様な学習体験を提供します。これらの工夫を取り入れることで、学生の学習到達度の可視化がさらに強化され、学生の学習意欲の向上を目指します。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	評価については、更に追求すべき改善の指標と位置づけています。多くの肯定的な意見がある一方で、それぞれの学生の個性を尊重し、学習の到達度に焦点を当てた授業の展開が必要であると認識しています。
学生の学修成果	苦手意識や科目的な特徴から視覚的な教材が多くなりますが、これにより学生たちは情報を形象的に捉え、理解を深める一助になっていると思われるかもしれません。しかしながら、すべての学生が視覚的な学習スタイルに適應するわけではないとも理解しています。一部の学生にとっては、聴覚的や技術的な学習方法がより効果的である可能性があります。そのため、授業では多様な学習スタイルに対応できるような教材や手法の使用を試みるのが重要であると考えます。また、それぞれの学生の学習スタイルを理解し、それに適した個々の指導方法を適用することで、全体的な学習成果を向上させることが可能になると考えます。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>学生個々の理解と知識の獲得だけでなく、思考力や問題解決能力の向上、そして自己主導的な学習への意欲といった広範な視点から評価し、それぞれの学生が自身の能力を発揮できる環境を提供します。</p>
--

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上

令和 5 (2023) 年度
星槎道都大学ティーチング・ポートフォリオ

所属学部・学科	社会福祉学部 社会福祉学科	職位・氏名	専任講師 湯浅 頼佳
---------	------------------	-------	------------

1. 教育の責任 (何をおこなっているのか? 担当科目は?)

①教育の責任

私は、保育士養成課程において食育を基本としながら、栄養学にとどまらず多方面から考察し「食」全般について様々な視点から思考できる事を目的としながら、保育の内容・方法に関する科目を担当しています。
学生が保育の専門性を理解し、保育士に求められる実践力の基礎を身につける事の出来る様指導することが私の教育の責任と考えています。

②担当科目

担当科目名	学科・専攻	必修・選択・自由科目の別	配当年次	受講者数
子どもの食と栄養	社会福祉学科	選択	3	16
保育実習Ⅰ	社会福祉学科・保育専攻	選択	3	9
保育実習指導Ⅰ	社会福祉学科・保育専攻	選択	3	9
保育実習Ⅲ	社会福祉学科・保育専攻	選択	4	6
保育実習指導Ⅲ	社会福祉学科・保育専攻	選択	4	6
基礎ゼミナールⅠ	全学科	必修	1	4
基礎ゼミナールⅡ	全学科	必修	2	5
スポーツと栄養	経営学科	選択	3	

2. 教育の理念 (どのような考えに基づいて行っているのか? 育てたい学生像など?)

建学の精神	社会が必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる。
教育の理念	必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる。
学科の教育理念・目標	【社会福祉学科】高齢者や障害者、子ども・家庭等「要支援者」の自立生活に焦点を当て、あらゆる支援活動にかかわることができるソーシャルワーカーを養成する。 特別支援・社会分野の教職において活躍し得る人材を養成する。
個人の教育理念・目標	保育士養成課程において食育を基本としながら、栄養学にとどまらず多方面から考察し「食」全般について様々な視点から思考できる事を目的として、保育の内容・方法に関する科目について理解し社会において役立つ事が出来、且つ共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する。

3. 教育の方法 (理念を実現するための考え方、方法は?)

授業	【必修科目】 「食」を基本として自分自身の知識として役立つことや将来の職業等に生かせる内容の理解を基本とすることを目標に、フィールドワークやグループワークの時間を設けています。その結果をまとめプレゼンテーションを行い、
----	--

	その後質疑応答の時間も設定し、各自が他者の考えにも共鳴でき今後に生かせることを目指した授業を設定しています。 【選択科目】 実習に臨むにあたり事前に知識として学んでおかなければならない内容についてポイントをまとめ提示しスムーズに実習が行えるよう授業を進めています。また、実習後も報告会を設定し、そのために必要な記録や報告書の作成についても取り入れた授業を設定しています。
アクティブラーニングについての取組	フィールドワークやグループワークの時間を設けています。その結果をまとめプレゼンテーションを行い、その後質疑応答の時間も設定し、各自が他者の考えにも共鳴でき今後に生かせることを目指した授業を設定しています。
ICT の教育への活用	Teams を活用し授業資料の事前提示や資料の配布、その後のレポート提出等を実施しています。
その他の創意工夫	学生の要望や疑問に関してはチャットやメール、LINE を使用しタイムラグの無い回答を心掛けています。

4. 教育の成果（その方法を行った結果、どうだったか？）

授業改善アンケートの結果	「わかりやすく良かった。」や「色々なことを学べた。」とのコメントを頂いています。
学生の学修成果	教育の責任や理念にあげた内容での人材の育成に関しての一助になっていると考えます。

5. 今後の目標（以上を踏まえて、今後どうするのか？）

<p>短期目標としては、授業改善アンケートの結果から基づいた内容を取り入れ授業に反映させていきます。</p> <p>長期目標としては、社会において役立つ事が出来、且つ共生社会のシステム構築に寄与する人材を養成する事を念頭に一層学生の学習成果に寄与できることを目指します。</p>

6. 添付資料（根拠資料）

シラバス

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/syllabus/>

授業改善アンケート

<https://www.seisadohto.ac.jp/students/information1/questionnaire/zyugyoukaizenanketo-kako/>

以上